

## 8 研究指導プロセス概要

### 経済学専攻【博士前期課程（修士課程）】

時期	項目	内容・目的等
入学前 (入学試験時)	指導教員決定	<ul style="list-style-type: none"> <li>●面接試験（指導希望教員を含む3名の教員により行う）により、大学院における研究計画案を確認</li> <li>●専攻委員会および研究科委員会にて入学試験可否と指導教員決定</li> </ul>
1 年 次	4月上旬	研究科主催ガイダンス <ul style="list-style-type: none"> <li>●研究科長・専攻長による大学院での学修に関する基本的事項の説明</li> </ul>
	4月上旬	個別履修指導・相談 <ul style="list-style-type: none"> <li>●上記ガイダンスの後、指導教員からの個別履修指導（履修相談） 授業履修計画は、修士課程で求められる経済学の基礎知識と、研究計画に必要とされる専門分野の知識の修得という観点より指導する</li> <li>●同時に、専門性を考慮し、副指導教員を決定する ※履修登録および変更には、指導教員の承認が必須</li> <li>●研究活動に向けた参考文献・資料等の確認と紹介</li> </ul>
	11月～12月	指導教員の演習科目を履修 <ul style="list-style-type: none"> <li>●複数の指導教員の演習科目を履修               <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究計画の作成と提出</li> <li>・教員指導の下で研究活動の進行 参考文献・資料の収集、理解 先行研究の調査、整理 情報収集やプレゼン技法の基礎を修得 修士論文執筆技法の基礎を修得</li> </ul> </li> <li>●なお、指導教員による研究指導は、学生の研究進捗状況により、演習科目以外の時間でも随時行われる また、学生の資質に合わせて、複数の指導教員が連携・分担して上記の研究活動の進行を指導する</li> </ul>
2 年 次	4月上旬	個別履修指導・相談 <ul style="list-style-type: none"> <li>●指導教員からの個別履修指導（履修相談） ※履修登録および変更には、指導教員の承認が必須</li> <li>●修士論文テーマの確認</li> <li>●研究の進捗状況確認（課程修了に向けたスケジュールの確認）</li> </ul>
2 年 次	指導教員の演習科目を履修	<ul style="list-style-type: none"> <li>●原則的に複数の指導教員の演習科目を履修               <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究計画の再検討</li> <li>・教員指導の下で研究活動の進行 参考文献・資料の収集、理解 先行研究の調査、整理 調査研究の推進 修士論文の執筆</li> </ul> </li> <li>●なお、指導教員による研究指導は、学生の研究進捗状況により、演習科目以外の時間でも随時行われる また、学生の資質に合わせて、複数の指導教員が連携・分担して上記の研究活動の進行を指導する</li> <li>●修士論文の執筆指導               <ul style="list-style-type: none"> <li>・修士論文の構成の検討 一例としては以下のような構成となる                   <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 研究の背景</li> <li>(2) 先行研究</li> <li>(3) 理論的・実証的基礎</li> <li>(4) 分析と結論</li> </ol> </li> <li>・作成の各段階において報告し、指導教員および演習参加院生より質疑応答を受ける</li> <li>・指導教員より論文原稿の改善点などの指導を受ける</li> </ul> </li> </ul>
12月～ 1月上旬	修士論文加筆・修正⇒完成へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●演習において指摘された要改善点の加筆・修正</li> <li>●論文原稿の完成</li> <li>●指導教員による論文原稿の確認</li> </ul>
1月上旬	修士論文提出	●定められた期間内に、修士論文および学位申請書類を大学院事務課に提出
1月中旬	修士論文受理	<ul style="list-style-type: none"> <li>●提出論文の受理（1月経済学専攻委員会にて）</li> <li>●専攻は、研究指導教員を含む3人以上の学位審査委員会を組織（主査は1名とし、他は副査とする）</li> </ul>
2月上旬	最終審査	<ul style="list-style-type: none"> <li>●論文審査および最終試験ならびに学力確認の実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>・試験官：学位審査委員</li> <li>・最終試験は口頭試問により実施（60分～90分のプレゼンテーションと質疑応答）</li> <li>・学位審査委員会での評価は、審査委員3名の合議により決定</li> </ul> </li> </ul>
2月中旬	可否決定	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学位審査委員会が審査結果報告書を作成し、経済学専攻委員会の議を経て、経済学研究科委員会に提出</li> <li>●経済学研究科委員会が報告に基づき審議し、可否を決定</li> </ul>

※上記は予定であり、内容及び時期を変更する場合がある

※学位審査の詳細については「中京大学大学院経済学研究科経済学専攻学位審査に関する内規」に定める。